

**しらかわ運動の普及に標語看板  
明るく元気な未来に向けて**

8月24日、市青少年育成市民会議（伊藤 満 会長）と市町内会連合会（同会長）から「しらかわ」運動の標語が書かれた看板が寄贈されました。

この運動は、市民がともに支えあい、明るく元気な未来に向けたまちを目指すため、「大切にしたい、こころがけたい、みんなで守りたい」ということを、し・ら・か・わの文字で始まる標語にしたものです。

看板は順次町内会に配布され、集会所に掲示される予定で、運動の普及に期待が高まります。



▲市役所で行われた看板贈呈式

**第57回白河市発明展**

**生徒たちの想像力とアイデアが満載**

9月16日から22日まで、市立図書館（道場小路）で、第57回白河市発明展が開催されました。

今回は、市内の小・中学校から246点の作品が出品され、審査の結果20点が選ばれました。

会場を訪れた人たちは、生徒たちのアイデアと想像力あふれる作品に、感心したり、ほほ笑んだりしながら作品を鑑賞していました。

入賞作品は、10月28日から30日まで県ハイテクプラザ（郡山市）で行われる県発明展に出品されます。



▲受賞した皆さん

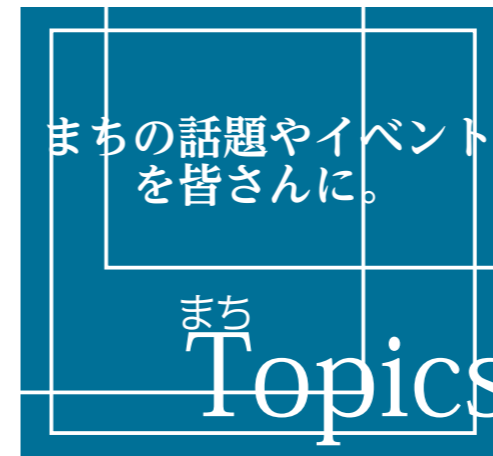
**おとめ桜の精からキャラクターが誕生「小峰シロ」  
新ご当地キャラクターで歴史や観光をPR**

小峰城三重櫓の横にあるおとめ桜 —。  
白河観光物産協会が「おとめ桜伝説」を活用したオリジナルシナリオを作成し、おとめ桜の精と子犬のシロが融合したご当地キャラクター、「小峰シロ」が誕生しました。このキャラクターは、舞台（小峰城・南湖・白河の関）によって3パターンに変身する全国初の「変身ヒロイン」です。

小峰シロ公式サイトでの活動がメインで、白河の歴史や観光などをPRしていきます。



▲小峰シロ（右）と変身後のキャラクター（左から）小峰城・桜花（おうか）、南湖・鏡花（きょうか）、白河の関・葉花（ようか）

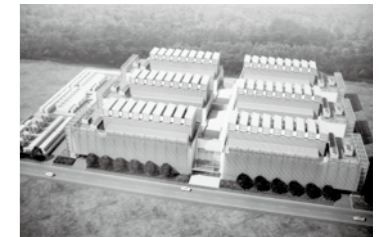


**ヤフー「データセンター」起工式  
復興と産業振興に大きな期待**

東日本大震災の影響で延期されていた「新白河データセンター（仮称）」の建設が、待望の着工を迎えました。このセンターは、インターネット国内最大手のヤフー(株)と、同グループの(株)IDCフロンティアが建設・運営するものです。

9月1日に行われた起工式には鈴木市長が出席し、「白河市のみならず福島県全体の復興再生のスタートになるものと確信しています」とあいさつしました。

同センターは、サーバーから出る排熱の冷却に、白河の冷涼な気候を生かした外気を導入する空調方式が採用され、消費電力を大幅に抑えることが可能な環境対応型となっています。このセンターの建設により、復興と白河地方の産業振興に期待が寄せられます。完成は来年秋の予定です。



▲データセンターのイメージ

**東京しらかわ会ふるさと訪問旅行  
変わりゆく白河を実感**

9月17日・18日、東京しらかわ会のふるさと訪問旅行が行われ、40人が参加しました。

今回のふるさと訪問旅行では、東日本大震災で崩落した小峰城跡の石垣を見学し、被害の大きさを実感しました。

続いて、7月にオープンした市立図書館を見学後、整備が進む中心市街地の散策を楽しみました。

震災に負けず、変わりゆく白河を実感することができたふるさと訪問旅行となりました。



▲市立図書館を利用する参加者